

牟礼中学校 地域連携と生徒ボランティア活動の活性化（3年次）

牟礼中学校 地域活性ボランティア隊
代表 藤井 邦夫

1 はじめに

防府市立牟礼中学校は、国府中学校の大幅な生徒増に対応して、校区の一部が分割され、昭和60年4月に防府市敷山町に開校した。校区には、国指定史跡敷山城址や多くの文化財を所蔵する阿弥陀寺等があり、古い歴史・文化が根付いている。また、牟礼地域は結束力が強く、地域活動も盛んである。

保護者や地域住民も教育熱心で、家庭・地域・学校が共に手を携えて、学校と地域のよりよい関係づくりを目指し、さまざまな活動を展開している。一昨年度からは学校、PTA共にこれまで以上に研修に向けての気運が高まっており、山口県教育会に牟礼中学校教職員全員が加入し（加入率100%）、PTAも正副会長全4名が加入している。このように、学校とPTAが地域活性化と校区の子どもたちの健全育成のために積極的に研修を行い、その成果を実践に生かしていこうという意欲にあふれている。



牟礼地区では牟礼地域自治会連合会、牟礼地区社会福祉協議会を始めとした各種団体が地域の連携・親睦を目的に夏祭りや文化祭など様々な行事を催しているが、これらの行事に中学校とPTAも積極的に関わる姿勢を見せている。そこでは中学生が多数、ボランティアとして運営の補助に携わっており、地域に大きく貢献している。これに関しては保護者のみならず地域住民も高く評価しており、将来にわたって牟礼地区を支えていく人材育成の一環として牟礼地区全体で支えていく体制が整いつつある。



しかしながら、学校行事ではない、地域での行事であるという性質上、これまでは中学生ボランティアは私服での参加となっており、一般参加の生徒との見分けがつきにくく、地域住民や行事主催団体からも「せっかく地域に貢献する素晴らしい活動をしているのだから、ボランティアスタッフとしてわかりやすい格好をさせてやりたい」という声が多く挙がっていた。また、生徒ボランティアを派遣している形の牟礼中学校からも「ボランティアスタッフとして地域に貢献する生徒たちに誇りと連帯感を持たせてやるためにも、スタッフジャンパーを着せて活動させてやりたい」との声も聞いていた。



そこで、一昨年度から、地域に貢献するボランティア活動を積極的に展開している牟礼地区中学生ボランティア活動のより一層の進展のために活動の助成を申請し、オリジナルのボランティアスタッフジャンパーを作成し、それを着用しての活動を行っている。今年度も助成を受け、枚数を増やすことができた。

2 活動の概要

ボランティア活動時に着用するスタッフジャンパーを購入し、それを着用して地区行事に参加することで、ボランティアとして参加、活動している中学生に誇りと連帯感を持たせることが、本『牟礼中学校 地域活性ボランティア隊』の活動目標である。

(1) 地域行事の充実

牟礼地区の夏祭り・文化祭など、地域で行われる行事に中学生がボランティアとして積極的に参画することにより、関係機関・団体、地域住民と連携し、地域活性化を目指すとともに地域に貢献する機会を子どもたちに提供することを目的としている。しかし、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの地域行事が縮小、中止となり、ボランティアの機会を提供することはできなかったことが残念である。来年度以降、この状況が終息し、子どもたちがまた地域ボランティアとして積極的に活動することができるよう願うばかりである。



※ この活動の様子を知っていただくために、一昨年度の活動の様子を撮影した写真を掲載する。

(2) 地域との連携

地域ボランティアの活動を通して、子どもたちの豊かな心の育成に貢献するとともに、地域の方々との関係を深め、気軽に学校を訪問できる環境を整えていきたいと考えている。

また、牟礼地域協育ネットである牟礼ミラタクネットからもボランティアの派遣要請を受け、防府市教委のALTを講師として牟礼公民館で開催している、小学生対象の英会話教室『英語 de 遊ぼう』は、コロナの影響とALTの度重なる転任のため、今年度は1回のみ開催となった。ALTのサポートとしてボランティア活動を行い、小学生やその保護者とも交流を深めることができている。昨年度からの活動が好評で、小学生の参加者も中学生のボラ



また、牟礼地域協育ネットである牟礼ミラタクネットからもボランティアの派遣要請を受け、防府市教委のALTを講師として牟礼公民館で開催している、小学生対象の英会話教室『英語 de 遊ぼう』は、コロナの影響とALTの度重なる転任のため、今年度は1回のみ開催となった。ALTのサポートとしてボランティア活動を行い、小学生やその保護者とも交流を深めることができている。昨年度からの活動が好評で、小学生の参加者も中学生のボラ

ンティアも回を重ねるごとに増えてきており、今後も活動を継続していきたい。

また、今年度は3月に『英語 de 遊ぼう』の替わりの活動として、『楽器にふれてみよう』という活動を牟礼ミラタクネットと公民館と計画している。吹奏楽部を中心としたボランティアで行う予定である。コロナの影響を受けつつも、地域も子どもたちも「いま何ができるか」を共に考えながら、活動を継続して地域とのつながりを作っていきたい。

3 事業推進の組織

牟礼中学校生徒ボランティアが参加している地区行事と主催・後援団体一覧

- | | |
|------------------|--|
| (1) 牟礼地区ふれあい夏祭り | 社会福祉協議会
自治会連合会
牟礼中学校PTA
牟礼ミラタクネット |
| (2) 牟礼文化祭 | 自治会連合会
社会福祉協議会
牟礼中学校PTA
牟礼ミラタクネット |
| (3) 英語 de 遊ぼう | 牟礼ミラタクネット
牟礼公民館 |
| (4) きれいなまち運動 | 牟礼地域自治会連合会 |
| (5) 柳川通学路整備・美化作業 | 牟礼地域自治会連合会 |
| (6) 楽器にふれてみよう | 牟礼ミラタクネット
牟礼公民館 |

4 成果と課題

一昨年度から生徒がボランティアスタッフジャンパーを着用して様々な地域行事に参加するようになった。以来、生徒たちが醸し出す誇りと連帯感は明らかに目に見えるようになってきた。登下校時に生徒たちが地域の方々と交わす挨拶の声も大きくなってきたと、学校運営協議会や牟礼ミラタクネット（地域協育ネット）でもお褒めの言葉をいただいていた。また今年度は、敷山城址の清掃に行く家族からの呼びかけで、部活動後にみんなで「ボランティアとして手伝いに行こう」という声をあげ、急遽、敷山城址の清掃活動ボランティアの参加も決まった。生徒たちの中に少しずつ地域のために自分たちにできることをやっていこうという思いが高まってきていることが何よりもうれしいことである。新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんどの地域行事が縮小、中止となり、ボランティアの機会が少なくなってしまったことは大変残念であったが、何かできることを探しながら、新たな



活動に挑戦する機会にしていきたいと考えている。行事を主催する各団体や行事に参加している保護者・地域住民からも好評で、これまで参加していなかった行事への参加要請が来たりしていたところだっただけに、来年度以降の活動再開を願っている。

生徒たちも、様々な地域行事にボランティアとして参加することで、自分たちが住んでいる地域の魅力を発見したり、住民から温かい声を掛けられ、感謝される経験を積むことで自己有用感を強く感じていることを参加した後の感想文に記している。



来年度以降、地域でのボランティア活動において牟礼小学校、牟礼ミラタクネットとも理念を共有し、より一層、連携・交流を図りながら地域への貢献を推進し、中学校と小学校との、また中学校と地域社会との相互支援を充実させて、「地域ぐるみで子どもを育てる」という気運をよりいっそう推進していきたい。